

独立展は才能を見出し、絵を描く人間を育てる場です。全会員による審査は一切の忖度を排し、作品そのものの力だけを見極めます。会期中は批評会やギャラリートーク等を通じて互いに刺激し合い、「厳しくも温かく」表現行為を後押しします。全出品者には毎年、作品批評集も作成し配布しています。独立展に「これが今の自分だ！」と胸を張れる作品をぶつけてください。30号から130号まで、自らの表現に見合うサイズを選び、個性を思い切り解き放ってください。独立展で自分を鍛え、唯一無二の表現を形にして欲しいと願っています。

事務所委員代表 浜松 繁雄

## 「独立展」1930年創立から現在

独立美術協会は、1930年11月1日に設立されました。創立会員は、清水登之、鈴木保徳、川口軌外、小島善太郎、児島善三郎、中山巍、鈴木亜夫、里見勝蔵、高島達四郎、林重義、伊藤廉、林武、福沢一郎、三岸好太郎らで平均年齢35歳という若き気鋭の画家たちでした。

翌年1月には東京府美術館で「第1回独立展」が開催されました。続いて野口弥太郎、須田國太郎、小林和作、海老原喜之助、鳥海青児らが会員として迎えられ、これらの先達に影響を受けた若い画家たちによって「独立展」は熱狂的に支持されました。こうして近代美術史に輝く画家集団として確固たる地位を築きあげました。

その後も、画壇の芥川賞といわれた安井賞展への入賞や昭和会展、安田火災美術財団奨励賞等の様々なコンクールや芸術賞での受賞、文化庁在外研修員に選出されるなどの所属画家たちの活躍を例に挙げるまでもなく、現在の洋画壇で中心的な活動をしている多くの有力な画家を輩出し、才能あふれる作家が登場し続けています。また、毎年6月を中心に銀座界隈の画廊で独立展出品者の展覧会が頻繁に開催され、美術界の話題になっています。

近年の「独立展」会場では具象や抽象というジャンルや概念にとらわれない作品群、写実的な傾向の作品や立体的な要素を取り入れた抽象・具象の作品、またコンピュータグラフィックスを利用した作品など、現代の絵画表現の多様さと共に自由・独創の熱気にあふれた作品群が展示されています。

「独立展」は、こうした新しく生まれようとする優れた才能には時を選ばず勇気を持って評価と栄誉を称えています。審査は独立美術協会の全会員により公正かつ厳正に行われ、「審査することは、同時に審査されること」という自覚をもって運営し現在に至ります。

今も創立時の精神を引き継ぎ、自由・公平で、温かい連帯感をもって、会員と前途有望な準会員、会友、出品者により毎年10月に国立新美術館で「独立展」を開催しています。



独立創立会員  
(日比谷・山水楼)  
写真提供: 山内滋夫氏

### ● 全体批評会

10月14日(水) 14:00~15:30  
各階展示室

### ● 解説ツアー (会員による作品解説)

10月15日(木)~23日(金)の平日 13:00~14:00  
1階 第1室より

### ● 若手会員との対話集会

10月18日(日) 14:00~15:00  
2階 第10室 (新人室)  
市川 光鶴、児玉 沙矢華、志田 翼



### ● ギャラリートーク

10月17日(土) 14:00~15:30 2-3階 新人室  
「構成画としての絵画表現」  
久我 修、塚本 聡、鳥潟 朝子

10月24日(土) 14:00~15:30 3-2階 新人室  
「抽象表現の多様性」  
岡田 忠明、伊東 茂広、五十里 雅子

10月25日(日) 14:00~15:30 2-3階 新人室  
「具象絵画の心理的表現」  
原田 丕、山内 和則、森 京子

## 第92回独立展 受賞作品

					
					
					
					

(左上から右下へ)

1 独立賞	森下よし子
2 独立賞	長谷 治郎
3 独立賞	東田 理佐
4 独立賞	津久井信幸
5 独立賞	浜口 政弘
6 独立賞	藤井 康子
7 協会賞	桐明 由季
8 海老原賞	高村 自朗
9 鳥海賞	川崎 浩
10 中山賞	中島 伸一
11 小島賞	長谷 祥子
12 松樹賞	高橋 義道
13 桜井浜江賞	三浦 浩蔵
14 齋藤研賞	三好 正志
15 石井賞	前田 充代
16 山田賞	首藤 順一
17 山田賞	増田 典彦
18 SOMPO美術館賞	竹内 美絵
19 TJ賞	浦生 英治

## 第93回 独立展

2026.10.14-26 国立新美術館

大阪展 2026.11.17-23 大阪市立美術館天王寺ギャラリー  
京都展 2026.12.1-6 京都市京セラ美術館  
中部展 2026.12.23-27 愛知県美術館  
福岡展 2027.2.16-21 福岡市美術館

